

正 誤 表

「入門人体解剖学（改訂第6版 第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
16	c項の6行目	心筋細胞の中央に <u>1個</u> の核があり	心筋細胞の中央に <u>1個または2個</u> の核があり
63	下から3行目	<u>肋骨柄</u>	<u>胸骨柄</u>
111	8行目	母指球筋のなかで、 <u>母子対立筋のみが正中神経で、ほかの3筋は尺骨神経支配である。</u>	母指球筋のなかで、 <u>母指内転筋（尺骨神経支配）以外は、すべて正中神経支配である。</u>
150	図 7-28 タカリ文字	前腕正中皮 <u>神経</u>	前腕正中皮 <u>静脈</u>
228	1行目	4肋骨より下)、 <u>肺門部と区別して病変の位置を示すのに使う</u>	4肋骨より下) <u>に区別して、肺門部とともに病変の位置を示すのに使う</u>
272	2行目	甲状腺機能亢進症 (<u>hypothyroidism</u>)	甲状腺機能亢進症 (<u>hyperthyroidism</u>)
272	8行目	甲状腺機能低下症 (<u>hyperthyroidism</u>)	甲状腺機能低下症 (<u>hypothyroidism</u>)
279	下から2行目	<u>体性感覚系と自律神経系</u>	<u>脳神経と脊髄神経</u>
378	図 15-2b, c タカリ文字	<u>内胚葉</u>	引き出し線とともに削除
379	9行目から11行目	<u>着床が進行中の受精後 第7日に、前述の内細胞塊の表面に1層の細胞が区別されるようになる。将来 腸管になる内胚葉である（▷図 15-2b, 表 15-2, 382頁）。</u>	すべて削除

2025年4月8日

株式会社南江堂